



三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SJ75BH(200V,150W)	室外ユニット用 インバーターLシリーズ

- 据付けの前に**
- 本製品は、厳冬期の室外ユニット 熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策及びドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
 - 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
 - ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンノック及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は財産・素材などの損害に結びつくもの。
-----------	------------------------------------	-----------	-------------------------------------

●据付け完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付け工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付け工事され不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据付け工事部品は、必ず当社付属部品及び指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

据付け工事は、この据付け工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 電気工事は電気工士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付け工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。
- 室外ユニットのサービスパネルを確実に取り付ける。
- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり、水などにより、感電・火災などの原因になります。

注意

可燃性ガスの発生・流入・漏洩・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまり、発火・爆発の原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電源には必ず漏電遮断器を取り付ける。

- 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

①ベースヒーター	②ヒーター固定金具	③固定ネジ (4×10)	④バンド
形状 	形状 	形状 	形状
1set	3個	5本	3本
⑤外気温度センサー	⑥ベースヒーター制御部本体	⑦ヒーター固定金具	⑧ファスナー
形状 	形状 	形状 	形状
1set	1set	1個	2本

2. 取付準備

※ベースヒーターの組み込みは室外ユニットを据え付ける前に行っていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付けのため、多くのネジをとりはずします。紛失しないようにしてください。
- ほこり、ゴミなどの除去を十分に行ってください。

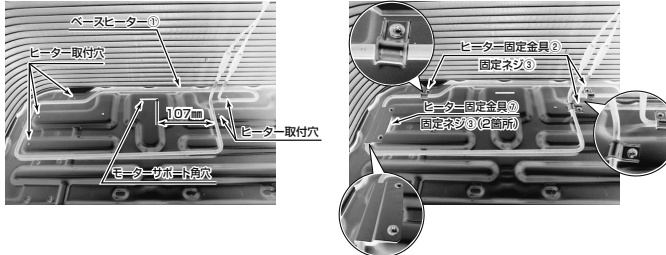
3. ベースヒーター組み込み準備

次の手順で右図に基づき各々の部品をユニットからとりはずし、ヒーターの組み込み準備を行います。

- ①サービスパネルのとりはずし
前側3本のネジをとりはずした後、パネルを下方にスライドさせてからとりはずす。
- ②トップパネルのとりはずし(とりはずしたトップパネルは使用しません)
前側2本、後側3本の各ネジをとりはずした後、上側に持ち上げてとりはずす。
- ③カバーパネルのとりはずし
カバーパネルのネジをとりはずす。
- ④フロントパネルのとりはずし
前面8本のネジをとりはずした後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引きとりはずす。
- ⑤ファンのとりはずし
ファンの固定ネジをとりはずし前側に引き出しとりはずす。
- ⑥モーターサポートのとりはずし
ファンモーターのコネクターをとりはずした後、モーターサポート固定ネジ2本をとりはずし、全体を斜め前方に持ち上げとりはずす。

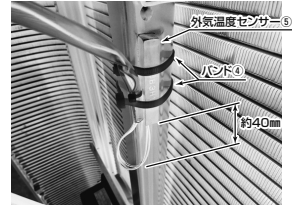
4. ベースヒーターの取付け

- ベースヒーター①を仮置きしてください。(下図参照)
- ヒーター固定金具②、⑦と固定ネジ③で、ベースヒーター①を固定してください。



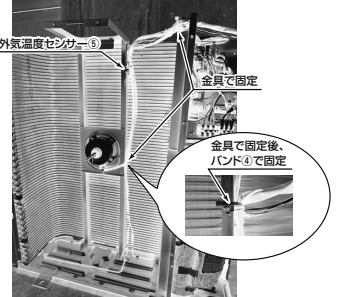
5. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑤の感知部に貼り付けている両面テープを剥がし、図に示すモーターサポート上部にリード線を上方に向け固定してください。
- ※外気温度センサー⑤のリード線を約40mmの位置でU曲げし、上下2箇所をバンド④で固定してください。(下側は外気温度センサー⑤のリード線と一緒に固定してください)



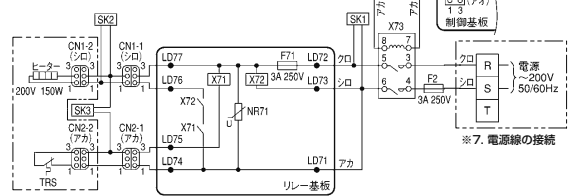
6. 各リード線の固定

- ベースヒーターリード線を、モーターサポートの写真の位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモーターのリード線と一緒に固定金具で結束し、電気品箱から機械室に引き込んでください。



☆電気配線図

下記配線図を参考に7~8の作業(リード線接続作業)を行ってください。



※8. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

7. 電源線の接続

図1

●ベースヒーター制御部本体⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R、S相に既設の端子と共締めしてください。※端子の向きは、必ず図のように取り付けてください。

警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締め付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

8. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 各部品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。

9. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑧を使い固定してください。なお、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る長さの設定になっておりますので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。各リード線の端子及びコネクター部は、必ず電気品箱内へ収めてください。



10. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付け及び電気配線の接続が確実に実行されていることを必ず確認してください。とりはずした各々の部品を分解時の逆手順で取り付けてください。
- ※プロペラファンは緩み防止のため必ずネジ部にネジロックを塗布し、5.7±0.3N・m(5.7±3kg・cm)のトルクで締め付けてください。
- 推奨品:スリーボンド製、ネジロック1401B

警告

室外ユニットの外野パネル類を確実に取り付ける。不備があると、ほこり水などにより、感電・火災の原因になります。